

第 49 回ビキニふくしまプロジェクト(ビキニふくしまプロジェクト×科学研究費金科研 C 共催)

「マーシャル諸島アーカイブ」へキックオフ!

2019 年 7 月 6 日(土)

第 1 部 11:00~12:00 第五福竜丸展示館見学

(2019 年 4 月にリニューアルされた展示館を主任学芸員安田和也さんの解説で見学します)

第 2 部 13:30~16:00 「マーシャルの人と暮らしと核実験と」

トーク 佐藤美香×中原聖乃×渡邊英徳

会場 夢の島マリーナ 2 階会議室 参加費 1,000 円 ★子ども・学生無料



太平洋の真珠の首飾りと称えられるマーシャル諸島。アメリカの核実験場として 1946 年から被害にさらされ、ここ十数年は気候変動の影響も深刻です。核被害や気候変動と闘いながらマーシャルの人たちはどんな暮らしを営んでいるのでしょうか。

2006 年からマーシャル諸島で生活している佐藤美香さんと、マーシャル社会をテーマに 20 年にわたる研究を続けている中原聖乃さんが、マーシャル諸島での体験やマーシャル諸島の最新事情についてトークします。後半は「ヒロシマ・アーカイブ」「東日本大震災アーカイブ」などを手がけてきた渡邊英徳さんもトークに参加します。



写真上/中原聖乃 撮影
写真下/佐藤美香 提供

「マーシャル諸島アーカイブ」へキックオフ！

マーシャル諸島は、戦後始まったアメリカの核実験でおびただしい被害を受け、アメリカから補償金や経済援助を得ています。現在、マーシャル社会は、成人病が蔓延し、人びとのアルコールと薬物への依存が高まっており、廃棄物処理問題も抱えています。これらは一見、核実験とは関係ないように見えますが、アメリカの補償金や経済援助、つまり現金の流入によって起こっているのです。被害を償うはずの補償金が新たな被害を生んでいると言えます。この悪循環を断ち切るためには、被害をうけた人々の側から被害を見る必要があります。マーシャル諸島とはどんなところで、どんな暮らしが営まれているのかを知ることは、マーシャルの人びとの目線で被害を考える第一歩となります。

ワークショップでつくる

「マーシャル諸島アーカイブ(仮称)」について

中原聖乃

マーシャル諸島の被ばく被害を研究するうちに見えてきたことは、問題解決の方法は社会によって異なる、ということでした。マーシャル諸島では、伝統的に被害者が加害者と共に社会にとどまりながら償います。それに対し、補償金は支払いにより関係性を断ち切る方向で問題を解決しようとしていると言えます。

被ばく者を救済する方法を、従来の「補償金の支払い」から、「被ばく当事者の被害観を理解する」ことに変えていく足場を作ることを目的として、科学研究費金科研Cは、デジタルアーカイブ制作の第一人者の渡邊英徳先生の協力を得つつ、2019年から「被ばくコミュニティ形成」研究をスタートします。被ばく者の文化的コンテキストにおける被害を明らかにし、さらにそれを社会に発信するツール「マーシャル諸島アーカイブ(仮称)」を作ります。アーカイブ作成の第一歩として、被害者ではない参加者が、被害者の目線で被害を理解、共有していくためのワークショップを日本とマーシャル諸島で開催します。このたびの第49回ビキニふくしまプロジェクトをキックオフとし、つづいて9月と12月に都内でレクチャーとワークショップ、さらに2020年2月にマーシャルでワークショップを行う予定です。レクチャーやワークショップに一度でも参加していただくことが、「マーシャル諸島アーカイブ」を一緒に作りあげていくこととなります。ぜひみなさまのご参加をお願いいたします。

<プロフィール>

佐藤美香(さとうみか)

中央大学文学部卒。2006年より現在まで、マーシャル諸島マジロにて夫と子ども2人と共に暮らす。マーシャルでの生活を通して、日本人には知られざるマーシャルの魅力を、マーシャル人には日本語や日本文化の素晴らしさを伝えていきたいと願い、子どもの学校で民間レベルのボランティア活動を行っている。共著に『ヤッコエ！マーシャル諸島話してみよう！マーシャル語』。

中原聖乃(なかはらさとえ)

1965年生まれ。神戸大学大学院総合人間科学研究科修了。1998年より現在までマーシャル諸島の被ばく問題を調査し続ける。専門は文化人類学。著書に『放射能難民から生活圏再生へ～マーシャルからフクシマへの伝言』。共著に『マーシャル諸島ハンドブック』など。

渡邊英徳(わたなべひでのり)

東京大学大学院教授。情報デザイン、ネットワークデザインを研究。「ヒロシマ・アーカイブ」「東日本大震災アーカイブ」などを制作。著書に講談社現代新書『データを紡いで社会につなぐ』など。

2019年7月6日(土)

第1部 11:00~12:00 第五福竜丸展示館見学

(2019年4月リニューアルの展示館を主任学芸員安田和也さんの解説で見学)

第2部 13:30~16:00 佐藤美香×中原聖乃×渡邊英徳
トーク「マーシャルの人と暮らしと核実験と」

会場 夢の島マリーナ 2階会議室(第2部受付は13:00~)

参加費 1,000円 学生・子ども無料

★12時より入場可。昼食会場にお使いください。コンビニは新木場駅前にあり、会場付近にはありません。夢の島マリーナにはレストラン有。



東京メトロ有楽町線、JR京葉線、りんかい線、『新木場駅』下車、徒歩10分
※現在、夢の島公園内が工事のため現地の表示にしたがって進んでください。